

ライフイベント 計算のために定式化する

1 ファイナンシャル・プランニングのための大切な手段がキャッシュフロー表です。キャッシュフロー表は、お金の表になっているので、金額で表現する必要があります

2 キャッシュフロー表を作成するためには、その構成要素であるライフイベントを数値化する必要があります。数値化に当たっては、一定のルールが必要になります

3 ライフイベントの数値化にあたっては、キャッシュフローの発生する頻度や発生の可能性、あるいは、金額が増減するもののかなどを考慮する必要があります

金額で表現する

ファイナンシャル・プランニングを考えるときに作成したいツールがキャッシュフロー表です。キャッシュフロー表は、数字で表された表になっているので、四則演算が可能になり、グラフ化することもできるのです。

キャッシュフロー表を作成するためには、キャッシュフロー表の構成要素であるライフイベントを金額で表す必要があります。

数値化するルール

数値化に当たっては、一定のルールが必要になります。始まりと終わりの時点は不可欠です。始まりと終わりの時点が決まれば、期間が確定できます。その期間の間、どのような頻度でキャッシュフローが発生するのかわかる情報も必要になります。

そして、必ず発生する金額なのか、一定の条件の下、発生する金額なのか、そういった情報もあったほうがよいかもしれません。もちろん、収入と支出の区別も必要になります。

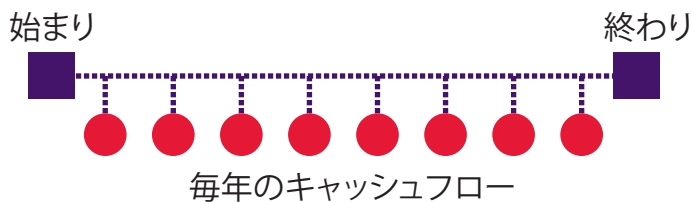


細かな見積もりが大切

平均的なキャッシュフロー表を、自分専用のキャッシュフロー表に脱皮させるには、ライフイベントの細かな見積もりが必要になってきます。

家計の情報をより正確に反映させるためには、より正確な、ライフイベントの金額の見積もりが必要なのです。

ライフイベントの定式化



- 頻度は?
- 金額は?
- 発生する可能性は?
- 収入?支出?
- 分類は?

ライフプランに関する相談はお気軽に

Barms
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)

神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301

tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268

✉ pinfo@barms.jp 🌐 <http://www.barms.jp>